

淀川河口への海水遡上に関する流動モデル解析 Analysis about the condition of sea water intrusion to Yodo River estuary by the fluid model

中村 一平^{1*}; 小山 悠人¹; 中田 聡史¹; 林 美鶴¹
NAKAMURA, Ippei^{1*}; KOYAMA, Yuto¹; NAKADA, Satoshi¹; HAYASHI, Mitsuru¹

¹ 神戸大学

¹ Kobe University

淀川の感潮域では近年、有毒海洋性植物プランクトン *Alexandrium tamarense* による赤潮が発生し、これによる貝毒が問題となっている。海水が遡上すると、海洋性植物プランクトンが増殖可能となる。そこで、現場観測を行って海水遡上状況を把握し、これを流動モデルで再現することにより海水遡上条件を検討した。

淀川感潮域の流動は、河川出水流、河口循環流、潮流、吹送循環流の合力である。海水遡上に対してはこれらが概ね同じ割合で寄与していた。

キーワード: 淀川, 海水遡上, 赤潮, 貝毒, 流動モデル

Keywords: Yodo River, sea water intrusion, Red tide, shellfish poison, fluid model